

講演会のお知らせ

宮川 繁氏

「すべての人に教育を:

マサチューセッツ工科大学(MIT)の教育理念」

日時:2011年6月29日(水)18:00-19:00

場所:1号館1階会議室

申し込み不要・参加無料

詳細は小林かおり(kaori@hum.nagoya-cu.ac.jp)まで。

名古屋市立大学人文社会学部国際文化学科主任

人文社会学部・大学院人間文化研究科共同

人間文化研究科教授

宮川 繁氏

マサチューセッツ工科大学言語学教授。高知・万次郎寄付講座記念教授。現在、外国語・外国文学の学科長、MITオープンコースウェア・ファカルティ委員会委員長。言語学関連の出版物多数。言語学研究と並行して、インターアクティブの教育用プログラム構築の為に研究所も運営。多言語、多文化社会における個人の人格的成長に目を向けたプログラム"Star Festival"は、Mac World Expoにおいてベストオブ・ショーを受賞した。"Visualizing Cultures"は、ピューリッツァー賞受賞歴史学者John W. Dowerとの共作で、National Endowment for the Humanitiesによって、傑出した人文科学教育ウェブサイトとして認定された。また、MITの教育イノベーション賞受賞(2004年)。2002年、教育工学雑誌Convergeは、宮川氏を、全米20名の「未来の牽引者」の一人として選出した。



MIT OPEN COURSEWARE MASSACHUSETTS INSTITUTE OF TECHNOLOGY

MITは2001年9月にオープンコースウェア (Opencourseware; OCW)を立ち上げた。OCWとは、大学や大学院などの高等教育機関で正規に提供された講義とその関連情報を、インターネットを通じて無償で公開する活動である。MITでは、すでに全学の学部・大学院のほぼ全ての科目、および2,000の教材を配信しており、毎月、世界中から100万人以上がアクセスしている(ocw.mit.edu)。

グローバル・オープンコースウェア・コンソーシアム(GOCWC; www.ocwconsortium.org)も立ち上がり、世界の200の大学が既に各大学の教材を無料で公開し始めた。現在、GOCWCの中でも、Japan OCW コンソーシアムの活躍が目立つ(www.jocw.jp)。2004年に6大学(阪大、京大、慶應、東工大、東大、早稲田)で始まり、現在、20以上の大学が教材を無料で公開し始めている。

宮川繁氏は2000年にOCWを提案したMITグループの一員である。<http://www.youtube.com/watch?v=2kb7x4zRK2k>。